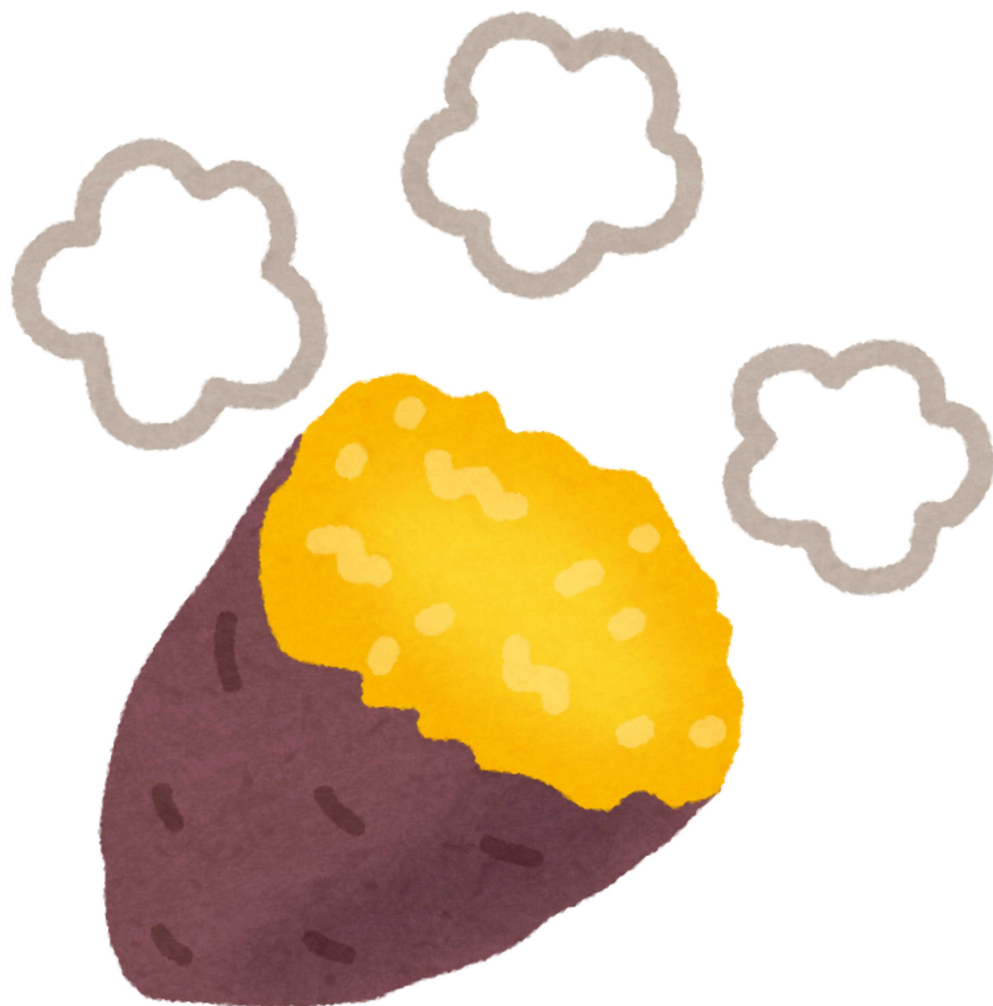




うしくでびっくり!
さつまいものまき

おくの地区社協
さく いいだ あきお

おかあさんと おみせ
にいったら あった。お
いしいおいしい やきい
も。あまくて ほくほく。



「でも、やきいもにつかう さつまいもは、どうつくるのかな？」



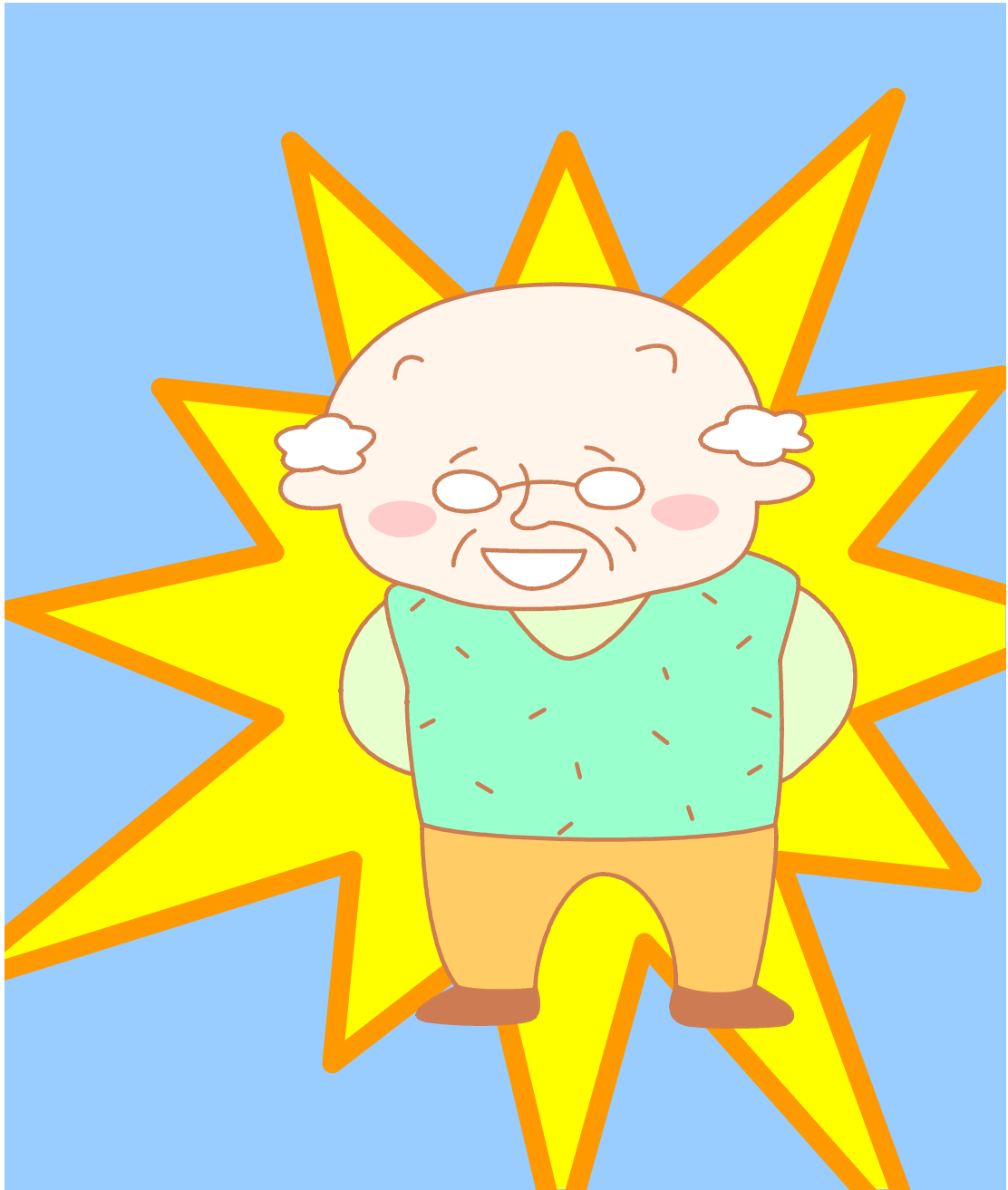
おかあさんに きいてみた。

「ん～、わからないわ」

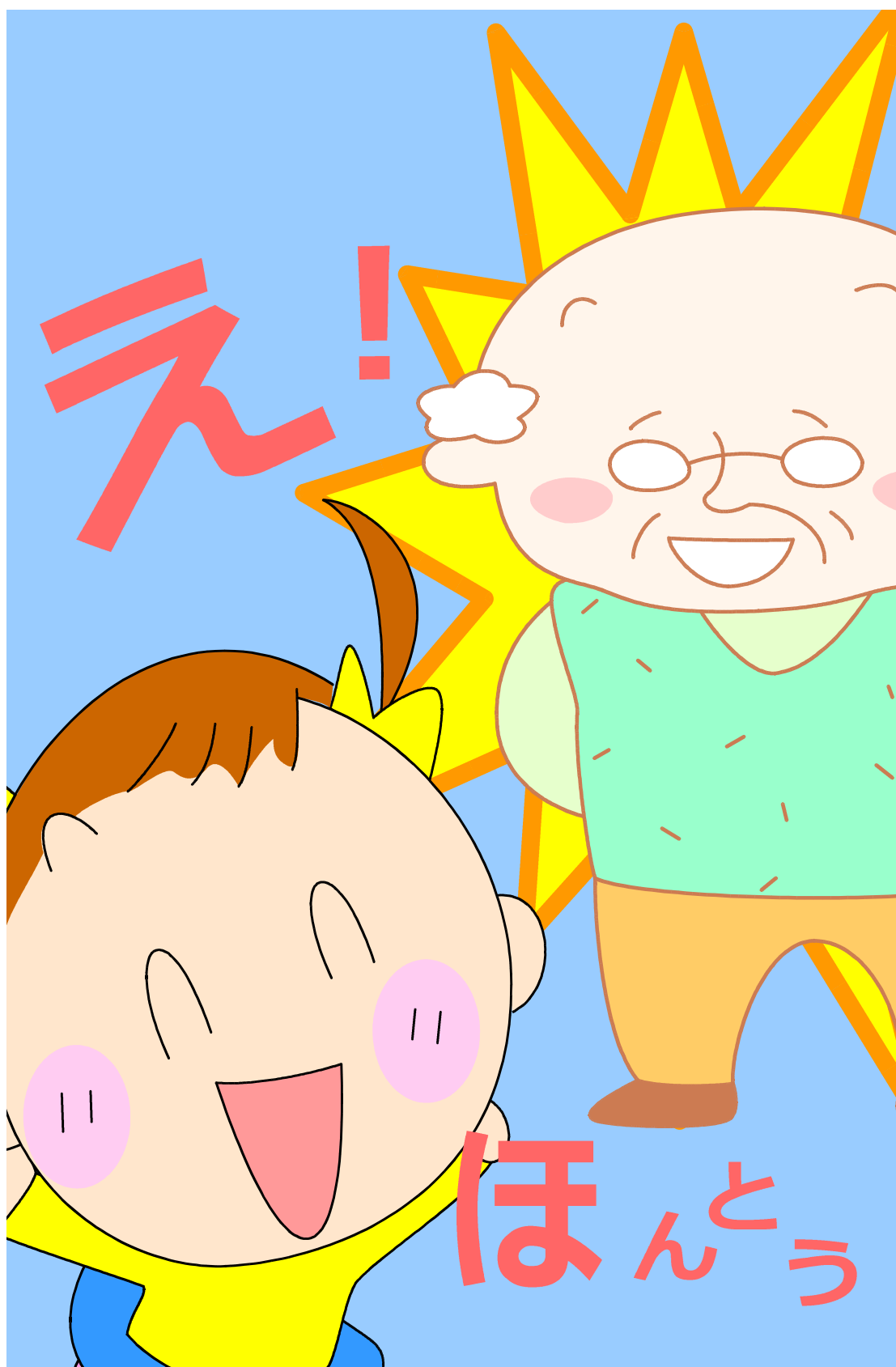
おともだちにきいても



そこで、な一んでも
しっているおじいちゃん
にきいてみた。



「ん～、さつまいもね。
あ、そうそう。ちくしや
きょうで、さつまいもを
つくっている　ながぬま
さんに　きいてみたらいいよ」



さっそく、おじいちゃん
とおともだちと い
っしょに ながぬまさん
のおうちにいってみた。

それならと ながぬま
さん。

「いっしょにつくろう」
と はたけにつれていっ
てくれた。きょうが、な
えうえのひだったんだっ
て・・・。

びっくり！

あれあれ、これはおもしろそうと、なぜ
なぜくんが、もりからあそびにきたよ。ど
こかな？



はたけにつくと、うね
があつて、まるち（くろ
いびに一る）が、はられ
ていた。

ちくしゃきょうのひと
たちが、いもなえをうえ
ていた。

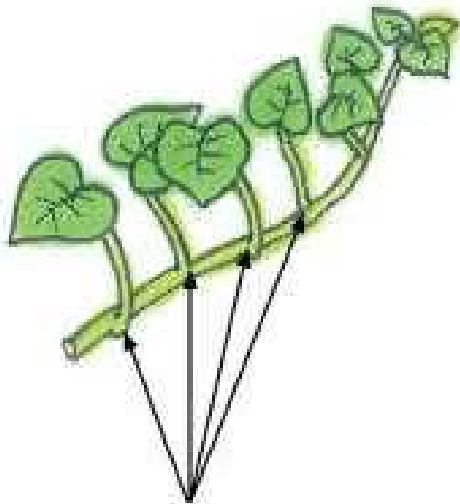
ながぬまさんが、
「はるに、こうして い
もなえをうえるんだよ」
と はなしながら うね
になえを ななめにさし
た。

びっくり！

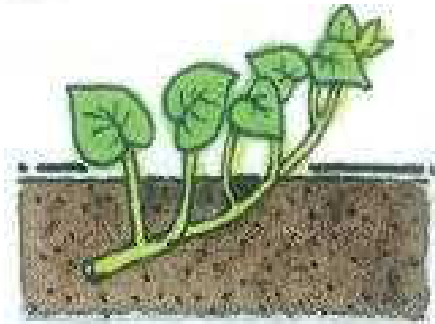
「どうして、ななめに？」



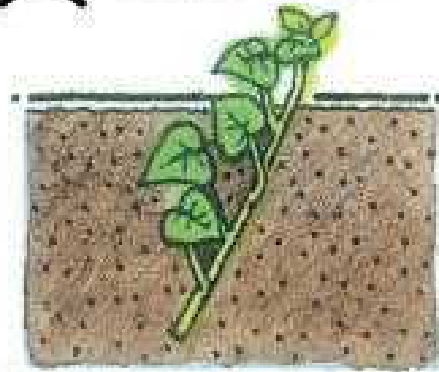
○ よいうえかた



ここからねがでる



× ふかすぎる



「どうして、まるちをは
るの？」

うえたあと、なえのまわりのつちを「ぎゅぎゅっ」とおした。

びっくり!

「どうして おすの？」

つぎに、なえを 30 cm くらいあけて うえはじめた。

びっくり!

「どうして、あけるの？」

まねして、なっちゃんも
なえをさした。

こうして、やっと、なえう
えが、おわった。



あせをかきかき
「けっこう たのしかったね」
と なっちゃんと おともだ
ち。

そして、あついあつい、
なつがやってきた。

たいへんだ。くさが、
ぼうぼう。

なっちゃんとながぬ
まさんとおじいちゃん
で、くさと。なえより
くさのほうか、よくそ
だっていた。

びっくり!

でも

「まけるな、まけるな、
いものなえ！」

と ひたいにあせして、

「おいしい、いもができますように・・・」

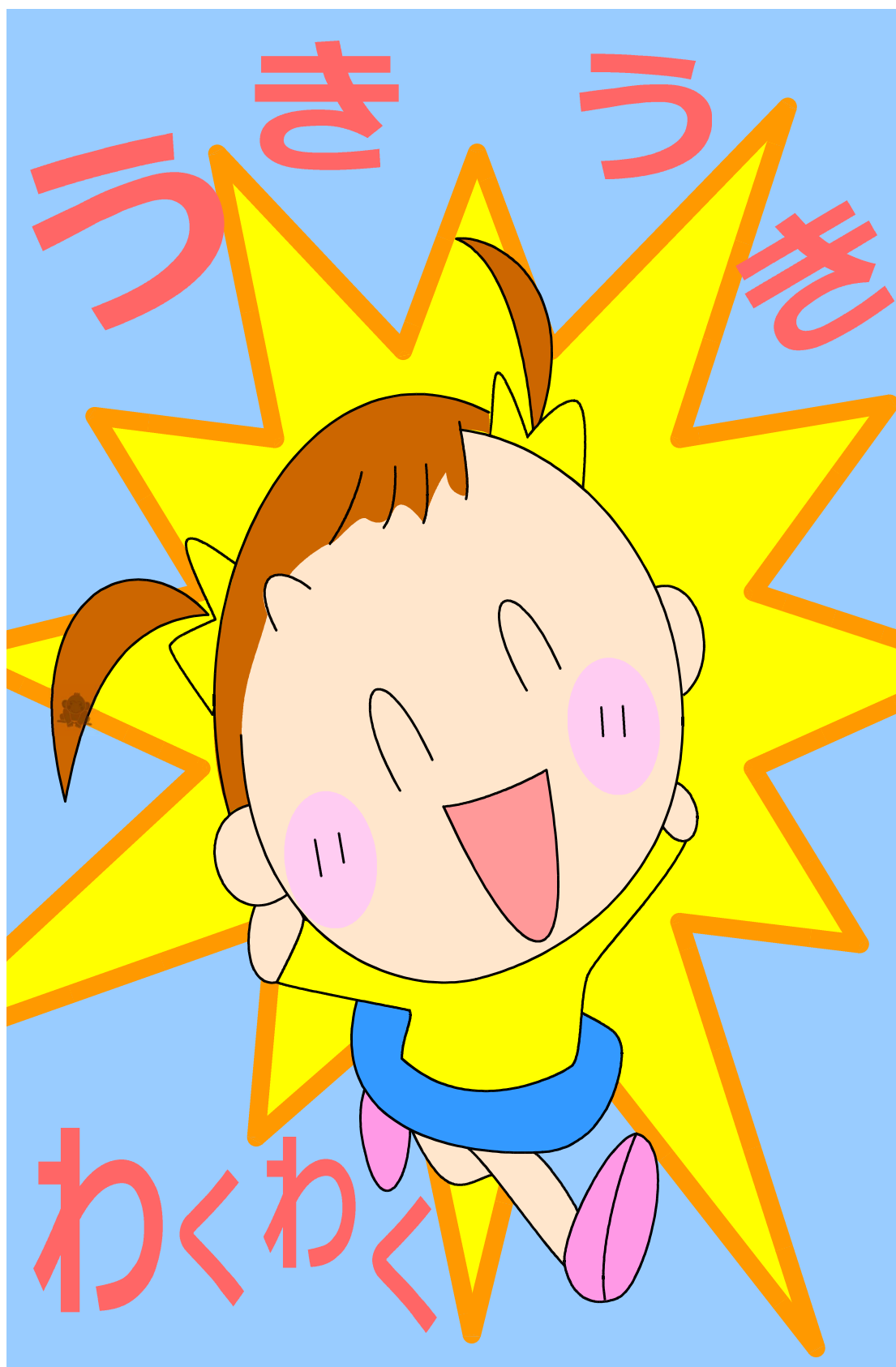
と ねがいながら、くさを
をいっぽんいっぽん め
いていった。

あきがきた。しゅうか
くのあきだ。

はたけいちめん みど
り いっしょく。



きょうは、いものしゅ
うかくび。



うねのなかは、こうな
っていた。



まるちの あなからで
ている つるをきると、
さきから「ぴゅー」とみ
ずが、しみだしてきた。
みずみずしい。

きつと、おいしいさつ
まいもに　ちがいない。

まるちをはがし、きつ
たつるを　ひっぱると
でてきた　でてきた　た
くさんの　さつまいも。

なっちゃんも、おおよ
ろこび。



でも、つるばかりで、
いもがないことも・・・

・
。 **びっくり!**

「そうか！ いいさつま
いも ばかりじゃないん
だ」

おわりのじかん。なっ
ちゃん、たくさん たく
さん とれておおよろこ
び。

おともだちも おおよ
ろこび。

それをみていた おじ
いちゃんも



と、おおよろこび。

こうして、なっちゃん
と おともだちは、おい
しいさつまいもをつく
るひみつがわかったのだ
った。

とっても、たのしかった。
た。

さーて、こんどはなに
をしらべようかな？

あれあれ？「すごーく、たのしかった」と なぜな
ぜくん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら
かえっていった。

またね